

## 2階 館内図



## 1階 館内図



### ■利用案内

開館時間 9時～19時

※2階集会室の利用は21時まで

休館日 毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）

年末年始（12月29日～1月3日）

駐車場 20台

### ■使用料

1階 学習交流室 無料

2階 集会室 1時間当たり1,100円

※空調利用の場合は1時間当たり550円加算

## 新中津市学校



## 新中津市学校

〒871-0055 大分県中津市1385番地1（殿町）

TEL 0979-26-1459

2019/NOV

## 2階 集会室



100人程度を収容できる広いスペースで、各種の講座や講演を行います。市民のみなさんへの貸し出しもを行います。

□使用料 1時間1,100円（予約制）

## 1階 学習交流室



学生や社会人など市民の学習・交流の場として無料で利用できます。

## 中津市学校とは？

慶應義塾が日本有数の学校へと成長する中で、中津でも洋学校設立を望む声があります。

設立を推進したのは福澤諭吉・小幡篤次郎といった慶應義塾の中津出身者たち。

この学校は「中津市学校」と名づけられ、明治4年、現在の南部小学校の場所に開校します。校名には広く同じ意識を持った人々が集い、平等に学べる学校という意味が込められたようです。初代の校長には小幡篤次郎が就任しました。廣池千九郎など優秀な人材を輩出しますが、西南戦争などの影響で経済状況が悪化し、明治16年に閉校となってしまいます。

新中津市学校は、広く平等に学びをという福澤諭吉や小幡篤次郎の思いを受け継ぎ、旧小幡記念図書館の建物を利用して開かれた学習交流施設です。



◀中津市学校の正門は、南部小学校の正門として現在も活用されています。



慶應義塾福澤研究センター所蔵資料

▲「福澤門下生集合写真」（明治7年10月8日撮影）  
左から、朝吹英二・福澤諭吉・中上川彦次郎・小幡篤次郎。いずれも中津出身で、故郷のために尽力しました。中上川は教員として中津市学校に勤めました。

## 初代校長の小幡篤次郎って？

小幡篤次郎は天保13（1842）年、中津藩上士の子として生まれました。教育者として藩校に勤めていましたが、福澤諭吉に請われて、上京します。彼は学生として福澤の講義に出席する傍ら後進の指導にもあたり、非常に信頼されていました。『学問のすゝめ』初編には、「同著」として彼の名前が記されています。

中津市学校の初代校長となった小幡は、地方の実情にあった洋学校運営をめざして尽力します。彼の遺言により、生家跡に蔵書を使って作られたのが、小幡記念図書館です。



▲小幡記念図書館（昭和13年撮影）



◀小幡篤次郎

## 慶應義塾との共同研究

新中津市学校では、慶應義塾と中津市の共同研究を行います。

例えば・・・

- ◆ 中津に関わる歴史資料の調査研究を進め、保存活用を行う
- ◆ 中津の先人たちの足跡をたどり、それらに関する情報発信を進める
- ◆ 慶應義塾所蔵資料を活用し、市民の文化活動に還元するなど